

第47回 日本タッチケア協会

指導者講習会

銀座レンガ通りクリニック

臼井 幸治

目次

- 心療内科での導入状況
- 治療実績（症例：2例）
- 診療の実際
- タッチケア（TO）の技術の深め方

心療内科での導入理由

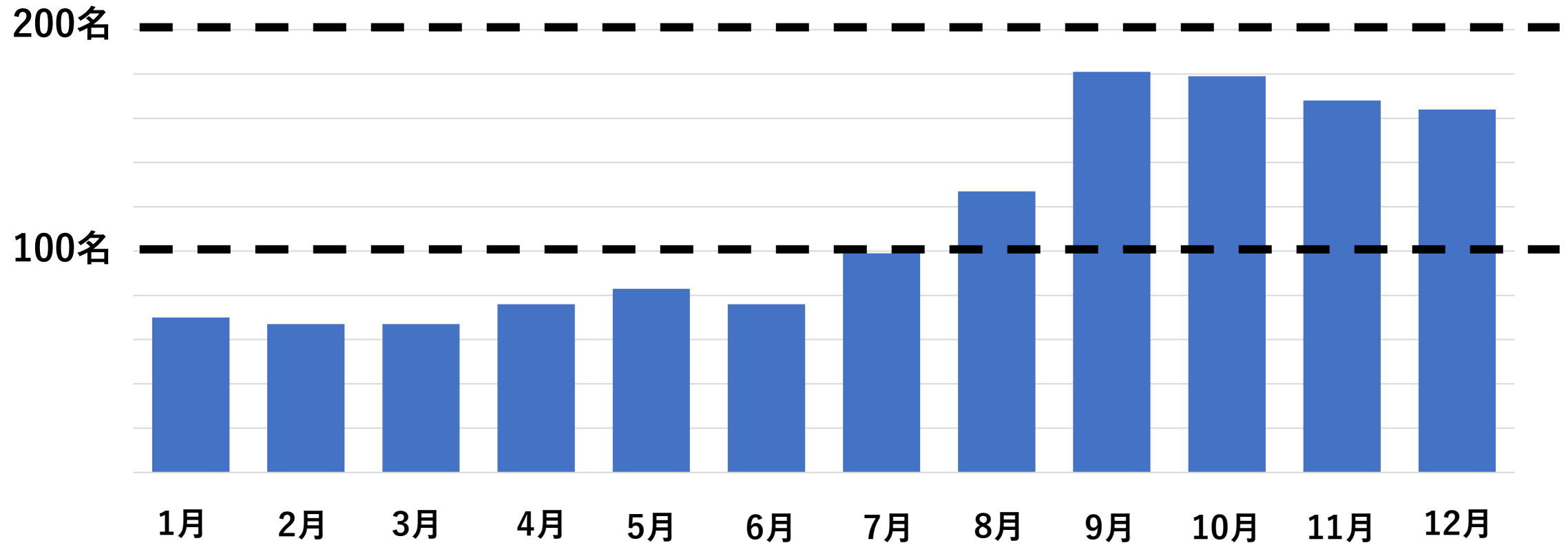
病気が：心理・社会的な原因が絡む
：自然治癒力↓
⇒ 発症・難治化する
タッチケア

導入状況

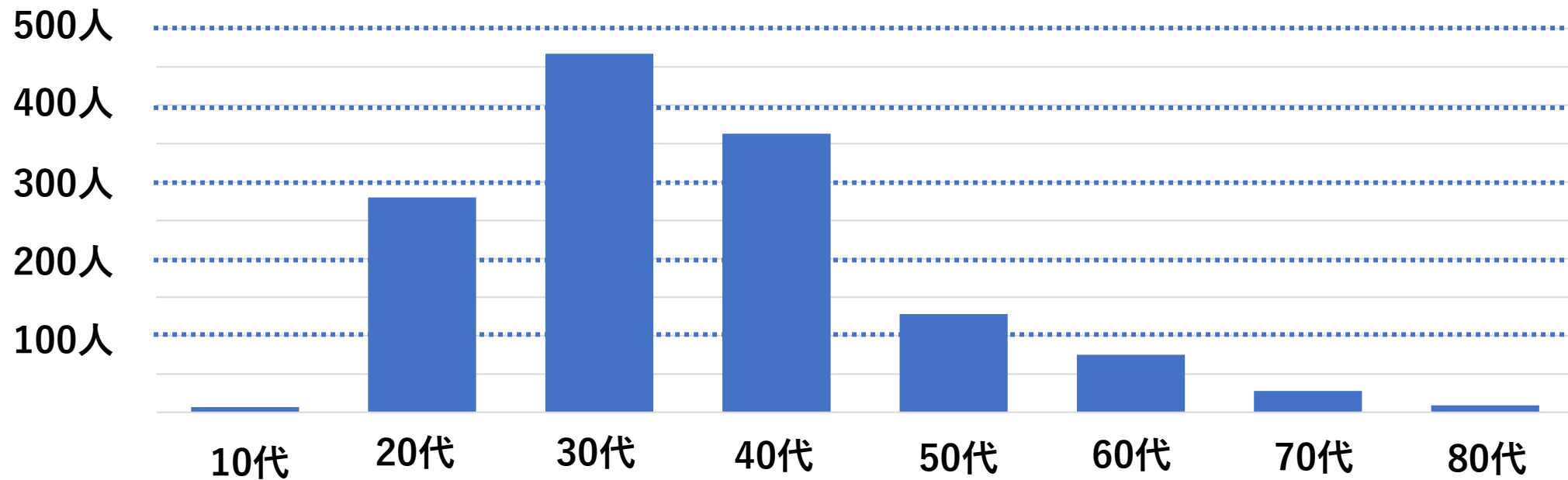
- 2020年12月から癌などの自然退縮
- 約100名／月のタッチケア
再現性や治療の適応範囲を確認。

⇒ **全ての疾患が何らかの改善**を示す。

2022年の年間症例数：1357名



年齢別グラフ



タッチケアによる治療実績

(身体疾患) 乳癌、白血病、成長痛
頭痛、慢性疲労症候群
コロナ感染後遺症etc

(精神疾患) うつ病、適応障害、
自律神経失調症、
レストレスレッグ症候群etc

乳がんの自然退縮

症例：40歳女性。2018年10月不眠

2020年12月、右乳癌stageⅢ

12月18日、右乳房に約80mmの腫瘤にTO

12月28日、5mm程度の腫瘍縮小化

その後、抗がん剤・手術を行い再発なし。

レストレスレッグ症候群の25歳女性

3・4歳の頃から足がムズムズ。

10年前～5種類の向精神薬。

2022年10月当院初診。

傾聴により安定。3か月後からタッチケアを開始。23年8月に投薬中止。

コロナ感染後遺症：半年間寝たきりの場合

- 初回：よく分からない（著効：±）
- 2回目：多少良い。自室で少し動いた
- 3回目：外に出て陽の光を浴びた
- 4回目：何かしようと思えた。出かけた

（回復期間は病状・自然治癒力に依存）

診療方針

- 本来の状態：自然治癒力が保たれる
- 病気：自分の本来の状態が分からず
心身にストレス⇒発症

⇒ 気づきの意識を深め行動変容を促す

⇒ 自然治癒力を高めて病気の治療

診療の実際

- 問診
- 身体診察（脈診）
 - 適応があればタッチケア（脈診）
- 精神療法（傾聴etc）、生活指導
- 投薬（西洋薬、漢方薬）

治療の流れ

- 一般的な保険診療（投薬・検査など）
- 生活指導、タッチケア（食事、睡眠など）

⇒**自然治癒力を改善するために生活指導
思考癖の修正を根気よく続ける。**

生活指導

- 睡眠：22時前に入床。ヨガ、瞑想
- 食事：定時に摂取。2～3回／日
- 活動：過不足なく活動できているか
- 休息：腹式呼吸やマインドフルネス瞑想
瞑想を推薦

当院のタッチケア

- 対象の自然治癒力を活性化。
- 全身（背面）を優しく触れるだけ。
- 場所を選ばず、何処でも誰にでもできる。
- 意識に注目することで病気が自然退縮する。
- 如何なる疾患も快方に向かうが効果発現には個人差がある。**

タッチケアの方法

- ・ インフォームドコンセント⇒腹臥位
- ・ 祈りを捧げ心を無にすることから始める
- ・ 背中全体を軽く圧迫し全身を軽く揺する
- ・ 背部、腰部、下肢裏、頭部を軽く触れる
- ・ (所要時間3～5分)

タッチケアの効果判定

- 脈診を行い、身体のエネルギーバランスを診る。
- **脈診上、自然治癒力の改善が認められる場合でも、患者自身の自覚は別。**
- 良くなったとの自覚がなければ終了。

タッチケアの作用機序

- 音楽療法的一种（仮説）

波が身体に伝わり本来のバランスになる。定着には個人差あり。

（←基礎疾患、身体的・精神的問題）

効果発現までの時間差

- 身体的要因
 - 自然治癒力の状態
- 精神的要因
 - ←悲観的・否定的
 - 信頼関係欠如
 - 自然の摂理（法）を信じない

治療が困難・不適応

- 愛着障害
- 人格障害
(自己愛型、境界型、回避型、他責等)
- 摂食障害
- 妄想性障害、統合失調症の急性期

治療者要因

- ・心身のバランスが分かる
 - ・自らを整える力（自然治癒力）を有す
 - ・自然治癒力を目覚めさせる
 - ・時間をかけて関わる
- ⇒**自然治癒力を上げるには不可欠！**

自己修練の例

- 1日2回、20分の瞑想
- 精妙な領域に関して学ぶ
- 患者を考え続け行動する（食事や生活）
- 心の癖を克服し精神的な成長を求める

⇒ **タッチケアのスキルは向上していく**

治療者の技術レベル（友愛の情）

- レベル1：癒しを与える（±）
- レベル2：病気を進行させない（+）
- レベル3：自然退縮を起こす（+++）

まとめ

- 対症療法 + 自然療法 ⇒ ベストな医療。
- 身体疾患、精神疾患など病気治療
- 介護、エステなどでも活躍。
- **タッチケアの技術向上 ⇒ 可能性は無限大**